彫刻で内面を表現する

現地の素材で人物像の叙情豊かに

長野県の木曽谷という田舎で育ちました。都会で制作活動をしていた頃でも人間の曲線と山の稜線が重なってみえていたくらい、田舎の風景に愛着があり作品にはその気持ちが入ります。「人物像で風景を表現したい」という思いで作品を創っています。教員となってからは“地元で掘り出した粘土を使って手作りの窯で焼く”そんなワークショップを熊本中心に各地で行ってきました。自然を相手にしていますので、出来上がりは予想しない叙情豊かなテラコッタの色が現れて感動します。炭化した黒い部分とテラコッタの特徴的なオレンジ色の濃淡とのコントラストは、神様の贈り物と思うほど美しい作品に仕上がります。学生たちには、「モデルをしっかりと観察すること」の重要性を説いています。表面をみるだけではなく内面まで想像力を働かせながら観察することで作品のフォルムや処理に影響するからです。これからも学生とともに自然との対話から作品を生み出して感動を伝えたいと思います。

芸術学部 美術学科（彫刻コース） 勝野 眞言 教授

崇城大学
SOJO UNIVERSITY

薬学部	生物生命学部		工学部				情報学部	芸術学部	
薬学科	応用微生物工学科	応用生命科学科	機械工学科	ナノサイエンス学科	建築学科	宇宙航空システム工学科	情報学科	美術学科	デザイン学科

〒860-0082 熊本市西区池田 4-22-1 問い合わせ（入試課直通） TEL:096-326-6810

そうじょう大学 検索